



視覚障がい者の皆さんと積極的に交流して気持ちを交わっています



普段は和気あいあいとした雰囲気ですが、いざ録音が始まると表情は真剣そのもの

# 平等に暮らせる社会が、当たり前前になるように。

ひこばえの会

# 声を届ける

音声訳ボランティアを訪ねて

音声訳ボランティアの活動を知っていますか。目が不自由な人のために、広報きくちや議会だよりなどを読み上げ、音声を収録したCDを作成して届けています。市内には、「ひこばえの会」と「音声訳ボランティア輪々」の二つのグループがあります。今回は音声訳ボランティアで活動している皆さんの「声」をお届けします。

### 活動内容を教えてください。

広報きくちなどの冊子を音声訳し、希望者へ配布しています。会員数は11人で、うち4人は熊本県点字図書館のボランティアを兼務しています。録音編集はパソコンを利用しています。また、県の視覚障がい者福祉協会が開催する歩こう会やゲームなどのイベントに参加し、視覚障がい者の皆さんとの交流を行っています。このような活動をしているのは県内でも珍しいそうです。自分たちで研修会を開催し、スキルアップも図っています。会員の中には、市外で指導者として活躍している人もいます。

### 何人で作業していますか。

4班集体で行っており、1班3〜4人で録音しています。作業は主に菊池市社会福祉協議会と菊池市老人福祉センターで行い、自宅で行うときもありません。

### 音声訳CDの利用者数を教えてください。

13人に郵送や手渡しなどで配布しています。うち1人は視覚障がい者ではない高齢者へお渡ししています。利用者が少ないので、もっと多くの人に利用してほしいですね。

### 苦労や問題点などありますか。

最近カセットテープからCDに移行しました。CD録音に伴うパソコン操作習得は大変でしたね。昨年4月から7月にかけて自分たちで研修会を重ねてきました。作業は録音に6時間から7時間程度、編集に数日かかっています。大変ですが、利用者の皆さんのためにとみんなで頑張っています。

### 情報を正確に伝えることが必要なので、読み間違いをしないことはもちろん、表現の仕方も考えて一つ一つ慎重に読み上げています。ちよっとした読み方の違いでも、広報紙が伝えないこととは別の意味に捉えられることがあるからです。

るからです。

CDを再生するためには、専用の機器が必要です。そのため、新しい利用者には少しご負担をかけてしまうかもしれません。

### 活動の思いをお聞かせください。

みんなが平等に暮らせる社会が当たり前だと思います。そのために、少しでもお手伝いできればと思います。働きながらボランティア活動をしている会員がいることも、知ってもらえるとありがたいですね。

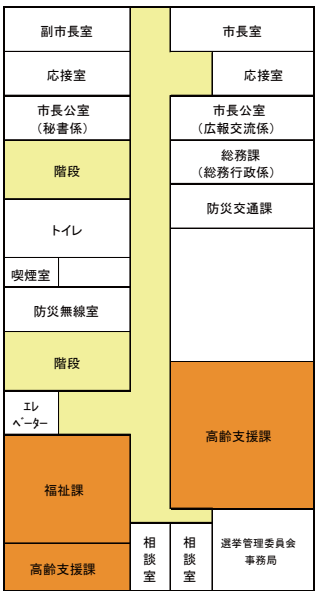


代表 葉室蘭子さん



お知らせやまちの出来事から写真の説明に至るまで録音。「見る」ではなく「聞く」広報紙です





## 本庁舎2階配置図

… 4月に移動する課

※市長公室(広報交流係)と防災交通課は3月に移動済み。

**広報** 報きくち2・3月号、ホームページでお知らせしましたとおり、市役所本庁舎などの整備工事に伴い各種業務の窓口が移動しており、4月には下記の課が移動します。移動先と移動完了予定日をご確認ください。電話番号の変更はありません。

市民の皆さまには平成30年度の整備終了までご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

菊池市長 江頭 実

## 4月に移動する各課局の移動先と移動完了予定日

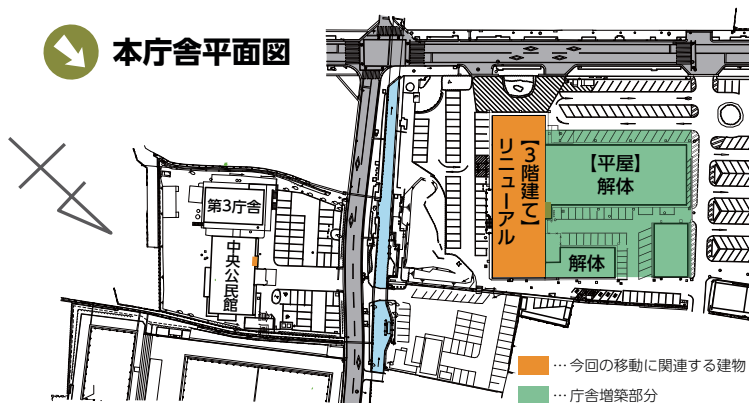
※電話番号の変更はありません。(市外局番 0968)

各課局室名	移動(前)	移動(後)	移動完了予定日	電話番号
1 福祉課	本庁舎1階	本庁舎2階	4月27日(月)	(25)7213
2 高齢支援課	本庁舎1階	本庁舎2階	4月27日(月)	(25)7215 (25)7216
3 総務課(総務行政係)	本庁舎2階	移動なし	—	(25)7111
4 選挙管理委員会事務局	本庁舎2階	移動なし	—	(25)7201
5 市長公室(秘書係)	本庁舎2階	移動なし	—	(25)7200

# 庁舎整備に伴い各種業務の窓口が移動します

問い合わせ先 庁舎整備課  
総務課職員係  
☎0968(25)7202  
☎0968(25)7204

## 本庁舎平面図



↑ 会員は主婦や働いている人、仕事を退職した人などさまざま。それぞれ協力し助け合いながら活動を続けています



## 喜んでもらえることが原動力です。

音声訳ボランティア「輪々」



代表 宇佐川訓子さん

活動内容を教えてください。  
ボイスレコーダーやパソコンを使い、広報紙の音声訳CDを作成して利用者の皆さんに届けています。

何人で作業していますか。  
会員は9人で、収録日に参加できる人で作業し、毎月3〜6人が参加しています。主に泗水地域福祉センターで録音し、編集は自宅で行っています。

音声訳CDの利用者数を教えてください。  
5人に配布しています。現在は泗水町に住んでいる人だけですが、要望があれば町外の人にもお配りします。以前は利用者のヘルパーの人に依頼して渡していました。現在は会員が直接手渡しして、利用者の皆さんとコミュニケーションを図っています。

苦労や問題点などありますか。  
以前はカセットテープに録音していたのですが、

活動の思いをお聞かせください。  
相手に喜んでもらえること、また利用者の皆さんとコミュニケーションが取れることが、この活動を続けられる原動力になっています。

私たちが知らないところにも、音声訳CDを必要としている人がいると思いますが、私たちが把握できません。市から啓発してもらおうなどして、たくさんの方に利用してもらえたいことを願っています。

音声訳CDには、会員の皆さんの声だけでなく、優しさと思いやりがたくさん込められていることが分かりました。視覚障がい者以外の人でも利用できます。CDを利用したい人、音声訳ボランティア活動に興味がある人は、気軽にご連絡ください。収録現場の見学もできます。

問い合わせ先 福祉課障がい福祉係  
☎0968(25)7213